

事例
01

ご利用者様の排せつリズムに沿った支援

1. 課題

利用者の目線:

「排せつタイミングではないときに
トイレ誘導が続くと、睡眠の質が。。。」

職員の目線 :

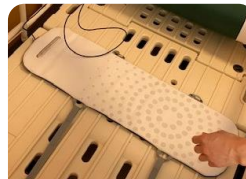
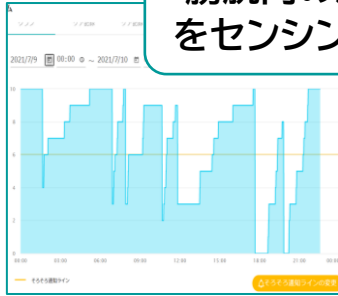
「適切な排せつ支援のタイミングでないとな業務負担が増大」



2. 機器の特徴

排せつ予測デバイス **DFree**

膀胱内の尿量を
センシング!



睡眠/覚醒の
状態が視覚的
にわかる!



見守り支援ロボット
眠りSCAN

3. “2つの介護ロボット”を組み合わせることのさらなる効果

膀胱に尿がたまり、覚醒・睡眠が浅い状態の
タイミングでトイレに誘導



→職員が、双方の課題を意識して
2種類の機器を活用し課題を解決!



DFree



眠りSCAN

【介護ロボットとは】

ロボットの定義とは、以下3つの要素技術を有する、智能化した機械システム

- ・情報を感知(センサー系)
- ・判断し(知能・制御系)
- ・動作する(駆動系)

(出典:厚生労働省ホームページ)



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム



鈴鹿グリーンホームHP